

※本映画は、岐阜県飛騨市の公式応援映画です。

長編映画企画

仏師 -BUSSHI-



作品概要

仏を彫るとは何か？

罪を犯した仏師は、その罪悪感に悩み苦しみながらも、再び仏を彫りあげることができるのか。

本作は、ある出来事をきっかけに仏を彫ることができなくなってしまった仏師が、再び仏を彫れるようになるころの回復（＝レジリエンス）に真摯に向き合い、それでも、なお人は生きていく、生きていかなければならぬ、ということを優しい眼差しで描く、魂の救済をテーマとした映画です。オリジナルストーリーで岐阜県 飛騨市協力のもと映画化が決定、同県 高山市、奈良県でも撮影を予定しています。

決定キャスト

※あらすじは裏面に記載



Yuya Endo

■ 楠久直哉役：遠藤雄弥（えんどうゆうや）

こんにちは。この度、映画『仏師』で直哉役を演じさせていただきます、遠藤雄弥です。今作では、拭いきれない罪、後悔、反省…。あの時ああしていれば… 私たちが生きていて、少なからずとも直面した事のある、過去の出来事との対峙に焦点をおいた物語になっています。仏像彫刻家である直哉と妻の陽真理が抱える、過去に冒してしまった出来事とどう向き合い生きていくのか。今回、岐阜県飛騨市、高山市、そして奈良県のロケーション、雄大な自然と四季の美しさに包まれながら、このストーリーを生み出した田中綱一監督、そして土村芳さんが演じる陽真理と共に様々な感情や出来事を共有し、向き合い苦しみ、それでも前を向いて生きていく。観ていただいた皆様の心にしっかりと響き、心で考える。そんな作品になるように努めていきたいと思っています。映画『仏師』御期待ください。



Kaho Tsuchimura

■ 楠久陽真理役：土村芳（つちむらかほ）

初めて監督とお会いした時、作品に込める強い思いや祈りのような気持ちを伝えていただきました。口下手な私はあの時緊張していて上手く伝えられたか分かりませんが、私が演じる陽真理という役と共にこの物語を生きることで、直哉と陽真理の夫婦とじっくりと向き合いその日々を見守っていきたいという思いが込み上げてきました。田中監督、主演の遠藤さんはじめとする、この映画のために集まる素晴らしいチームの方々と一緒にさせていただけること、飛騨、高山、奈良の地でこの物語が始まることを今からとても楽しみに脚本を読みながら想像を膨らませています。沢山の方に届けられるよう心を込めて臨みたいと思います。

あらすじ

自然豊かな飛騨の集落に移住してきた若い夫婦、仏師の直哉とその妻・陽真理。新たな土地で慎ましい生活を始める二人だが、直哉はなぜか本業である仏像が彫れずにいた。一方の陽真理にも胸に秘めたわだかまりがあり、その仲はどこかぎこちない。

初めは用心深く様子を伺っていた集落の住人も、夫婦が隣人の吾郎やその孫娘・希々夏(ののか)と仲を深めるにつれ、少しずつ二人を受け入れるようになる。だが直哉は、集落のお堂にある焼けた観音像を巡って、吾郎と集落の住人の間にも不穏な空気が流れていることを知る。

少しずつ明らかになる、人々が抱えた罪や後悔の思い。そして焼けた観音像にまつわる悲しい記憶。

やがて、希々夏(ののか)を巡り、同じ過ちが起ころうとしていた――。

製作概要 & 制作者

製作：(株)平成プロジェクトを主幹事とした製作委員会組成

国内公開目標館数：映画祭巡業後 30館～

撮影地：岐阜県 飛騨市、高山市、奈良県他

配給：(株)平成プロジェクト

監督&脚本：田中 綱一 (助監督経験を経て、本作の脚本を自ら執筆、初監督作品となる)

プロジェクトスーパーバイザー：廣田 稔 (廣田稔法律事務所代表)

プロデューサー：志賀 司(株式会社 セレモニー代表 https://www.sougi.info/funeral_omoi)

副島 義樹 (映画/ドラマを中心とした制作業務に約15年従事)

益田 祐美子 (平成プロジェクト代表 <https://heisei.pro/>)

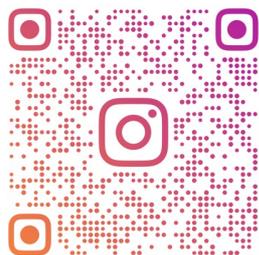
アソシエイトプロデューサー：羽田 文彦 / 鈴木トシ子

制作スケジュール：※状況により若干の変動の可能性あります

2025年：春編(4月下旬)、夏編(8月)、秋編(10月下旬-11月上旬)

2026年：冬編(1月)、春編ラスト(3月～4月)※各撮影は1週間以内、7月完成 全国公開へ

公式SNS



MOVIE_BUSSHI



@Busshi1108
(X 旧:Twitter)



Movie Busshi
(Facebook)